

大胸筋皮弁 102 皮弁の検討について

このたび、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて院長の許可のもとで大胸筋皮弁 102 皮弁の検討を行います。

研究対象者に該当する可能性のある方で、研究への情報提供を希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。また、本研究に関する質問等がある場合も下記の連絡先にお問い合わせください。

研究の名称	大胸筋皮弁 102 皮弁の検討について
研究責任者	山口県立総合医療センター 形成外科 宮内 律子
研究期間	研究許可日～2024 年 4 月 12 日
研究の目的	大胸筋皮弁は特に頭頸部再建において、遊離皮弁術での再建が主流となった現在でも有用性が高い皮弁であるが、皮島壊死のリスクや移動距離に制限があることなど注意点もある。当院で行なった大胸筋皮弁の症例について分析し、安全性やリスク因子について検討することを目的とする。
研究の方法	2007 年 1 月から 2022 年 12 月までの間に大胸筋皮弁を使用して再建手術を行なった方を対象に診療録より情報を収集する。研究に用いる情報は、年齢、性別、疾患名、手術方法、合併症、手術中、手術後の局所写真とし、これらの情報、症例数について報告を行う。
公表	第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会で報告予定
研究の資金源	企業からの資金提供はない
利益相反	なし
問い合わせ先	山口県立総合医療センター 形成外科 宮内 律子 電話：0835-22-4411(代)